



平成27年10月1日
国土交通省中部地方整備局
名古屋港湾事務所

お知らせ

浚渫兼油回収船「清龍丸」が館山港で一般公開

～1,347名が船内の様子を見学～

浚渫兼油回収船「清龍丸」(国土交通省中部地方整備局名古屋港湾事務所所属)は平成27年9月27日(日)に千葉県館山港館山夕日棧橋※(以降、夕日棧橋)で一般公開を行い、1,347名が本船を見学に訪れました。

船内では、通常行っている浚渫機能や大規模油流出時に備える油回収機能及び東日本大震災時などの災害時に緊急物資輸送等の支援作業を行うための機能などについてのパネル展示を行い、見学者の方に説明を行いました。

見学者の方は、乗組員からの本船の役割や計器類等の説明を熱心に聞いたり、乗組員の制服を着た子供と記念撮影をするなど、楽しんでおられました。

なお、本船は館山港での一般公開終了後、定期修理のため9月29日(火)に横浜港に入港し、11月13日(金)に名古屋港へ帰港する予定です。

※館山港は観光の地域振興に重要な役割を果たすことが期待される港湾として、特定地域振興重要港湾に指定されており、夕日棧橋は観光レクリエーション振興のための重要な拠点として整備された館山港の多目的棧橋

〈参考(一般公開日時・場所等)〉

日時：平成27年9月27日(日) 10:00～16:00

場所：館山港 夕日棧橋

見学者数：1,347名

【浚渫兼油回収船「清龍丸」】

国土交通省では、全国に3隻の浚渫兼油回収船を保有しています。

その1隻である「清龍丸」は、平時は名古屋港において航路や泊地の浚渫作業を行っていますが、大規模油流出事故発生時には、速やかに現場海域に出動し、油回収作業を行えるよう、常に万全の体制を整えています。

また、東日本大震災発生時には、地震発生直後に緊急支援物資輸送のために出動し、岩手県の釜石港・大船渡港へ被災後第一船として入港しました。

なお、「清龍丸」の詳細については、別紙をご覧ください。

○配布先 中部地方整備局記者クラブ、名古屋港記者クラブ、専門紙記者会、港湾空港タイムス、港湾新聞、日本海事新聞、海事プレス

○問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 海洋環境・防災課 下田(しもだ)

Tel 052-651-6791 Fax 052-651-3801



○9月26日(土)「清龍丸」 歓迎式典の様子



夕日棧橋への着岸状況



「清龍丸」歓迎式典の様子

○9月27日(日) 一般公開の様子



船内見学の様子

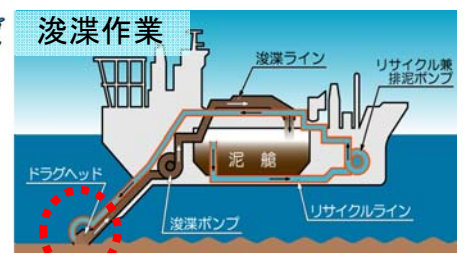
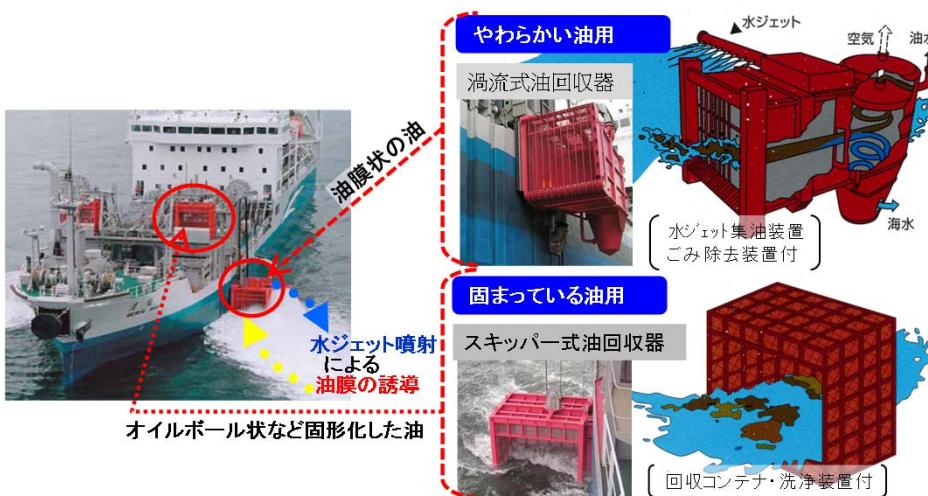
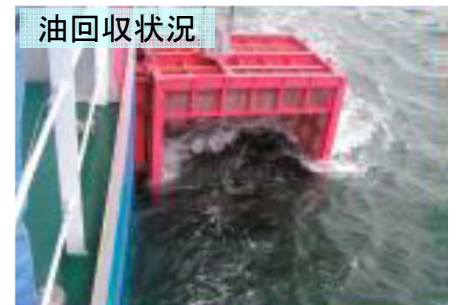
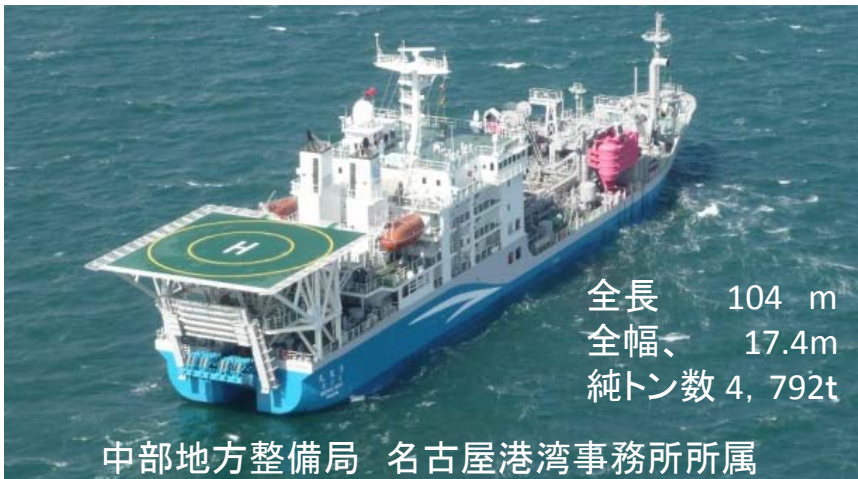


清龍丸の紹介ビデオを見ている様子

浚渫兼油回収船「清龍丸」の概要

「清龍丸」の行う業務

- 通常は、航路、泊地等の浚渫作業。
 - ・高精度で平坦浚渫を可能とする幅広い新型ドラグヘッドを装備。
- 大量油流出時には、速やかに流出現場に向かい、油回収作業。
 - ・油の状況に応じた2種類の回収器を装備。
- 災害時には、災害支援作業(災害情報収集、救援物資輸送、給水、電力供給等)。
 - ・情報収集・発信のための通信システムや防災要員・物資運搬等のためのヘリデッキを装備。



油回収タンクに約1時間で1,000kl (ドラム缶約5千本分)の油水を回収可能。